
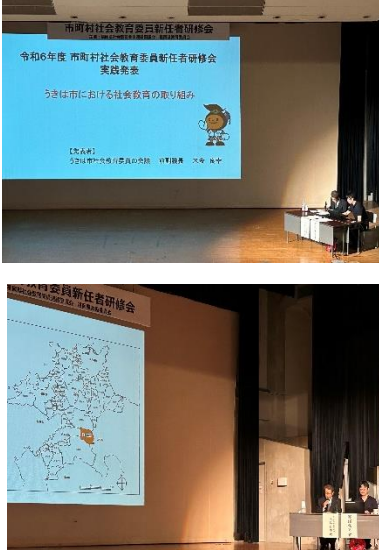


令和6年度

事業名 市町村社会教育委員新任者研修会	
期 日 令和6年6月26日(水)	
参加者 63名	
趣 旨 主として新しく委嘱された市町村の社会教育委員等を対象に、社会教育の基礎的な知識や社会教育委員の役割、当面する社会教育の課題等についての研修を行い、社会教育委員としての資質の向上を図る。	
活動の様子	
【説明】「福岡県内における社会教育委員の現状」	
福岡県立社会教育総合センター 社会教育主事 柴尾 裕夢	
	県内における社会教育委員の現状として、現任数や年齢構成、経験年数等を示し、そこから見える「後継者不足」や「制度の形骸化」等の課題について説明を行いました。また、主体的に活動されている市町村の事例についての紹介も行いました。参加者からは、「社会教育委員の数が減少している現状を知れてよかった。」「若い世代のなり手が少ない。」等、社会教育委員の現状に対する課題意識が高まった様子をうかがうことができました。
【実践発表】「うきは市における社会教育の取組」	
うきは市前社会教育委員 末金 良幸 氏	
	地域の様々な団体や個人等と連携した取り組みを行うことで、多世代の地域住民をつなぐことを目的とした社会教育委員としての活動を発表していただきました。活動の内容として、多世代をつなぐ新たな取組である「かたらんね食堂」や従来からあった取組を地域の様々な団体等と連携した取組にリニューアルした「夏の祭典」などを紹介していただきました。各委員が社会教育委員の特性である独任制を生かし、それぞれの地域において住民同士の絆づくりの取組を行い、それをまちづくりに向けた取組として、積極的に推し進めている活動が印象的でした。 参加者からは、「新規事業だけでなく、既存のものをリニューアルされたところが素晴らしく感じた。」や「地域の方が積極的に生き生きと活動されている姿が素敵だった。」「他の市の実例をお聞きでき、自分の自治体で実践してみたい。」等の声が聞かれ、実践発表から新たな視点を得て、今後の活動に取り入れていこうという意欲を持った参加者が多く見られました。

【講話】「これからの時代に求められる社会教育委員の役割」

文教大学人間科学部人間科学科 准教授 青山 鉄兵 氏



青山先生は、社会教育学、青少年教育論を専門分野として社会教育の振興に御尽力されています。

本研修では、新任者の社会教育委員の方を中心に、「社会教育とは何なのか」、「社会教育委員の役割とは何なのか」について基礎的・基本的なところから教えていただきました。また、「なぜ、社会教育委員がいるのか」、「社会教育行政の役割」についても御講話いただき、社会教育行政職員の在り方について改めて学ぶ機会となりました。

参加者からは、「社会教育委員がやることを分かり易く教えていただいた。」や「社会教育委員としての役割を分かっていない部分もあることに気付かされた。」等の声が聞かれ新任者はもちろん経験豊富な方も社会教育委員の役割について学び直しができた有意義な時間となりました。

【演習】「レッツ、アクション！わたしたちにできること」

福岡県立社会教育総合センター 社会教育主事 柴尾 裕夢



参加者が抱える悩みや地域の課題を解決するための情報収集をするとともに、ネットワークを広げ、今後の活動への意欲向上を図ることを目的として参加者同士の交流をワールドカフェ形式で行いました。「社会教育委員としてできること」「社会教育委員が活躍できるためにできそうなこと」をテーマに、最初は、同じ立場の方でグループを編成し、その後は、立場関係なく様々な方と意見交流ができるようにして行いました。

参加者からは、「ワールドカフェは初めてだったが、楽しかった。研修会で取り入れたい。」や「行政、社会教育委員それぞれの立場からの意見が聞けてよかった。」等の声が聞かれ、多くの方との交流を通して、社会教育委員としての視野が広がるとともにつながりを築くことができ、さらには明日からの意欲を持っていただけた演習となりました。

参加者の声

- 青山先生の話は、すべての社会教育委員や担当職員に聞いてほしい内容だった。
- 実践発表を聞いて、地域課題を一緒に考えられる仲間づくりが大切だと思った。
- すべてのパートで深い学びとなった。
- コロナ禍で研修から遠ざかっていたが、工夫されたスケジュールで有意義だった。
- 小さいことからでも、地域に関わっていけば社会教育につながるかなと思った。
- 自分に何ができるか分からないが、身近な課題を見つけていこうと思う。
- 色んな社会教育の研修会に参加したが、より実践的に活かせる要素が多くあった。